

1. 件名：特定原子力施設監視・評価検討会（第92回）に係る面談

2. 日時：令和3年7月5日（月）10時30分～11時25分

3. 場所：原子力規制庁18階会議室

4. 出席者

原子力規制庁

原子力規制部 東京電力福島第一原子力発電所事故対策室

竹内室長、澁谷企画調査官、岩永企画調査官、林田管理官補佐、

大辻室長補佐、石井係長、久川係員、塩唐松係員、

福島第一原子力規制事務所

小林所長、坂本原子力運転検査官（テレビ会議システムによる出席）

東京電力ホールディングス株式会社 福島第一廃炉推進カンパニー

プロジェクトマネジメント室8名（テレビ会議システムによる出席）

福島第一原子力発電所2名（テレビ会議システムによる出席）

5. 要旨

○原子力規制庁は、東京電力ホールディングス株式会社（以下「東京電力」という。）から、次回（第92回）特定原子力施設監視・評価検討会（以下「検討会」という。）の議題に関し、資料に基づき以下の説明を受けた。

➤ スラリー安定化処理に向けた設計について

○原子力規制庁は上記内容を確認するとともに、以下のとおりコメントを行った。

【スラリー安定化処理に向けた設計について】

➤ 脱水物保管容器の長期健全性について、温度条件のほか、保管するスラリー脱水物の水素イオン指数（pH）や塩化物濃度等、腐食進行の評価をするにあたって用いた計算条件を示すこと。

➤ HIC 内スラリー移替え作業における HIC 内部構造物の取扱いについては、取り外しを行わずに移替え作業を行う旨、明記すること。

➤ HIC 上蓋開放作業時の被ばく線量等安全評価をするにあたって必要となるデータを示すこと。

○東京電力から、コメントについて検討の上、検討会に向けて対応が必要なものについては対応する旨回答があった。

6. 資料

➤ スラリー安定化処理に向けた設計について（案）[東京電力]